

# 電力・ガス市場価格の高騰状況や 今後の対応について

2022年9月27日  
大阪ガス 株式会社

# 要旨

- 電力・ガス市場価格の高騰状況や今後の対応として以下2点についてご説明。
  - ①直近及び今後のガス需給状況、節ガスに関する検討状況
  - ②電力価格高騰を受けた当社の対応
- 今冬に向けては当社としては、想定需要に対しては必要量を確保済。
- 節ガスについては、LNGの輸入が困難となる特別な有事を想定した対応が国の審議会で議論されており、9月15日に開催された第53回 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会において中間とりまとめ（案）が公表されている。
- 当社としても、国の議論を踏まえ、必要な対策等について検討を進めていく。
- また、原燃料価格の高騰に対しては、以下の対応を行っている。

## 【当社の対応】

	対応	実施月
電気	燃料費趙瀬の上限価格の廃止	2022年10月1日付(11月検針分より適用)
ガス	原料費調整の上限価格の見直し	2022年11月1日付(12月検針分より適用)

# 「ガス需給の見通し」と「節ガス」対応について

- 当社としては今冬に向け想定需要に対する供給量は確保済。
- 節ガスについては、国の審議会での議論を踏まえ、検討を進めているところ。

## 1. ガス需給の見通しについて

- ✓ 昨冬に続きラニーニャ現象による厳冬予報もあり、需要動向で左右される側面はあるものの当社としては想定需要に対する供給量は確保済。

## 2. 節ガス対応について

- ✓ 国の審議会において、現状において都市ガスの需給ひっ迫は生じておらず、在庫は堅調に推移しているものの、国際的なLNG供給構造の変化を踏まえ、特別な有事にも対応できるよう、需給両面からの準備を進めておく必要があるとして議論が進められている。
- ✓ 都市ガスの原料であるLNGの輸入が困難であり、LNG量が不足するような特別な有事を想定した対応として、国と業界や事業者の役割や、都市ガスの供給支障を回避するための方策について、検討されており、次頁の項目について、今後具体的な整理が行われる予定。

# 【ご参考】国の審議会での議論

出典：「都市ガスの需給対策について(案)概要 第53回 総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会 電力・ガス基本政策小委員会

## 都市ガスの需給対策（案）の概要

- **現在、我が国では都市ガスの需給ひっ迫は生じていない。**足元の都市ガス用LNG輸入量・月末在庫は堅調に推移。
- 一方で、カーボンニュートラルの動きの中で世界のLNG供給余力については厳しい見方があった中で、ロシアがウクライナ侵攻。EUはロシア産天然ガスの代替として、LNGの調達を拡大。**当面、世界のLNG供給は余裕が無い状況が想定。**
- **LNGの代替調達に支障が生じるような特別な状況にも対応できるよう、需給両面の準備を進めておく必要あり。**

### 供給対策

- **都市ガスの需給ひっ迫を避けるため、供給対策に万全を期することが重要。**
  - (1) **LNGの調達と事業者間の融通**
    - ・ 電気・都市ガスの事業者間融通の枠組み設置
    - ・ 公的枠組みによる都市ガス用LNGの調達の仕組み
  - (2) **調達に対する国の支援等**
    - ・ 産ガス国への働きかけ、上流開発支援等
    - ・ 都市ガス事業者への金融支援、需要家支援等の検討
  - (3) **都市ガス事業者による代替調達・融通の事前準備**

### 需要対策

- (1) **経済DR・経済インセンティブの活用**
  - ・ ビジネスベースでの活用について最大限の取組
- (2) **代替エネルギー等の活用**
- (3) **都市ガス使用の節約の要請**
  - ・ 都市ガス需要家に自主的な節約を要請
  - ・ 節約メニュー等の情報や事例を提供
- (4) **個別の需要抑制の取組**
  - ・ 小売事業者から個別の需要家に対し、更なる需要抑制を要請
  - ・ 国による最終的な需給調整のための規制的手段の整備
- (5) **事業継続計画（BCP）の準備**

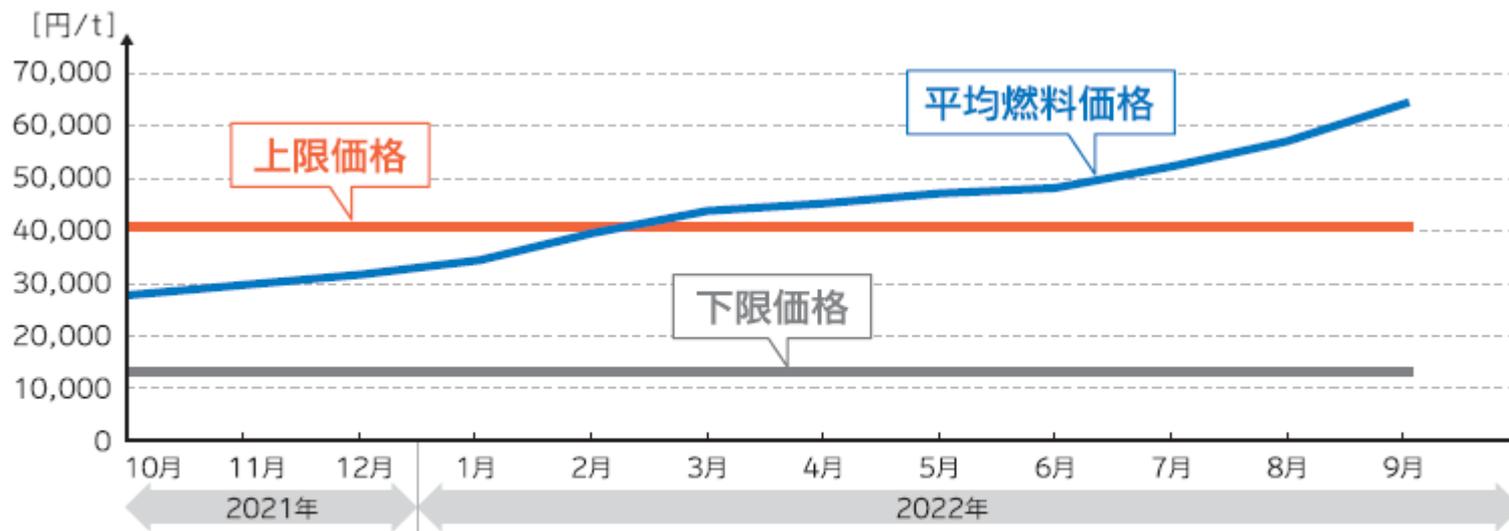
### 中期課題等

- (1) **需給ひっ迫に備えた調達・在庫等のあり方の検討**
- (2) **合成メタン・バイオガス・水素等の導入促進**
  - ・ CNの目標に加え安定供給の観点からも導入促進
- (3) **省エネルギー等の推進**
  - ・ LNG削減のため省エネや省エネ機器の開発・普及を推進
- (4) **小売競争政策等への需給対策の視点の反映**

## 電力価格高騰への対応について①

- 燃料価格は高騰を続けており、2022年3月検針分から、平均燃料価格は上限価格を超過しており、今後も超過が継続するものと見込まれる。

### 【電気燃料費調整における平均燃料価格推移】



※平均燃料価格は、電気供給約款(2022年6月1日実施)に記載の算定式に基づき財務省貿易統計の公表値をもとに算出しています。  
2022年3月以降、上限価格を超過し、今後も超過が継続するものと見込まれています。

## 電力価格高騰への対応について②

- 燃料価格の高騰を受け、2022年10月1日付で約款を変更し、燃料費調整における上限価格と下限価格を廃止することとした。

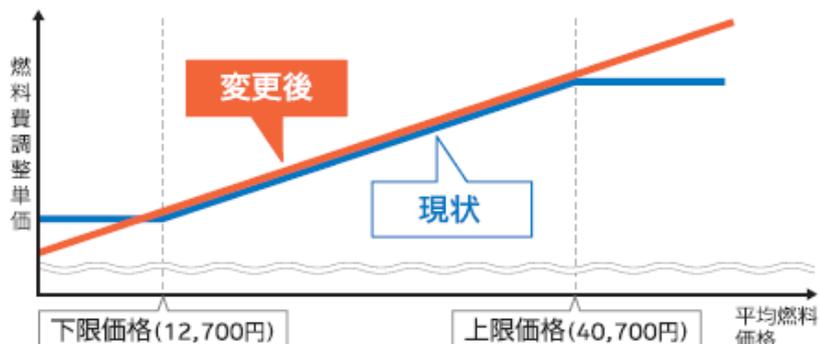
### 電気料金の算定イメージ



#### 燃料費調整額とは

- 原油やLNG、石炭といった燃料価格の変動を電気料金に反映させていただくものです。
- 燃料費調整単価は、基準燃料価格と平均燃料価格の差額に基づき算定いたします。
- 平均燃料価格は、財務省が公表する原油・LNG・石炭の貿易統計をもとに算定いたします。

### 変更内容イメージ



#### 変更前

平均燃料価格が上限(下限)価格を超過する場合、超過分は燃料費調整額には反映されません。

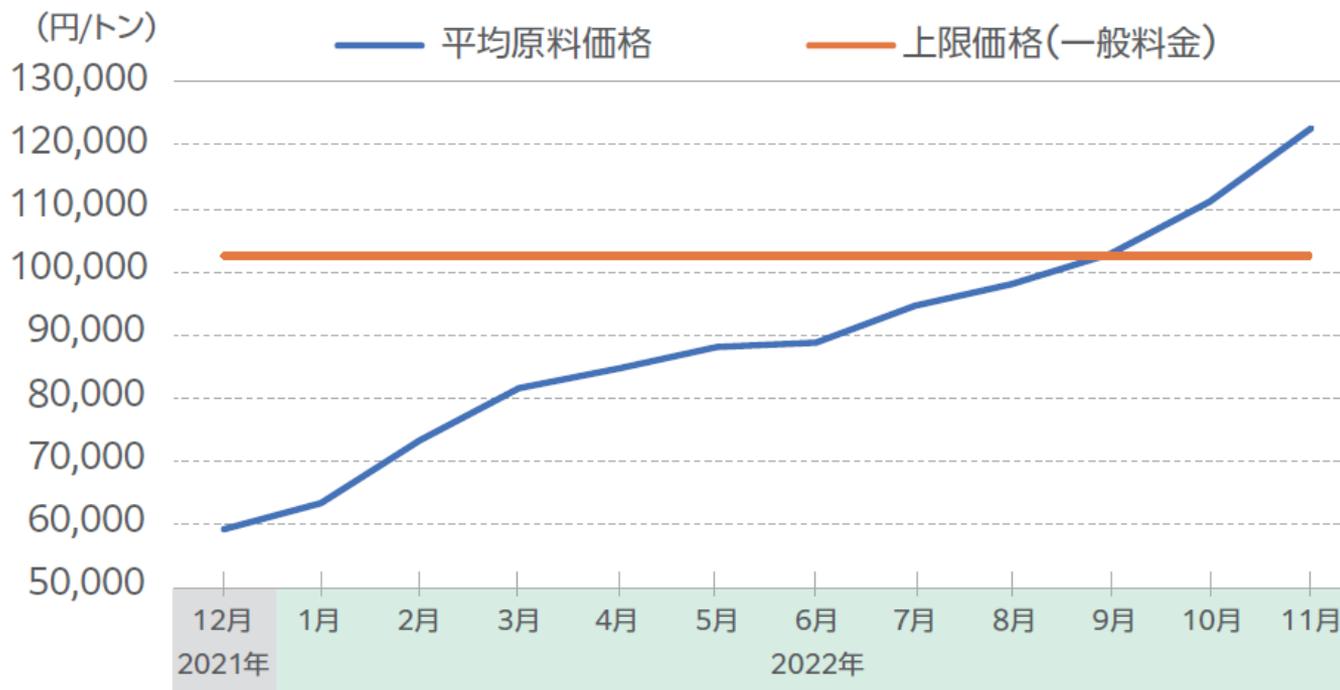
#### 変更後

上限(下限)価格超過分も燃料費調整額に反映されることとなります。

# ガス原料価格高騰への対応①

- ガス料金についても、9月検針分より平均原料価格は上限価格を超過。
- 今後も上限価格の超過が継続するものと見込まれる。

【ガス原料費調整における平均原料価格推移】



※平均原料価格は、2022年4月1日実施のガス基本約款および個別約款（一般料金）に記載の算定式に基づき財務省貿易統計の公表値をもとに算出しています。

※11月検針分に適用される平均原料価格の算定に用いる貿易統計の公表値のうち、2022年8月分については速報値を用いて計算しています。

## ガス原料価格高騰への対応②

- 一般料金について上限価格の見直し（引き上げ）を行う。ただし、顧客への影響を緩和するため、段階的に上限価格を引き上げていく。

### 【上限価格の変更について】

対象：一般料金

変更前：102,540円/トン → 変更後：177,860円/トン

### 【上限価格の段階的な変更について】

検針年月	2022年	2023年				
	12月	1月	2月	3月	4月	5月以降
上限価格(円/トン)	115,090	127,640	140,190	152,740	165,290	177,860

※お客さまにお支払いいただく際の各月の単位料金と、標準家庭(30m<sup>3</sup>/月)におけるガス料金は、適用月の2か月前の月末より当社ホームページにてお知らせいたします。

例：12月検針分の単位料金を10月末に公表いたします。

### 【変更時期について(イメージ)】



## 顧客の反応

- 安定的に電気やガスの供給を継続していくために、原燃料費調整における上限価格を廃止または変更することで、原燃料価格の高騰分についてやむを得ず電気料金/ガス料金に反映することとした。
- 対象顧客には、ダイレクトメールの郵送やチラシの投函により、約款変更の周知を行うとともに、専用フリーダイヤルを設定し、問合せに対応している。  
※電気供給約款の変更については、8月下旬よりDMの郵送を開始済。  
※ガス供給約款の変更については、9月下旬よりDMの郵送を開始予定。
- 多くの問い合わせを頂戴しているが、原燃料費の高騰分を価格に転嫁することについて、やむを得ないといったご意見のみならず、厳しいご意見も頂戴しており、引き続き当社のおかれた状況についてご理解いただけるよう、丁寧に説明を行っていく。



大阪ガスグループは、Daigasグループへ。